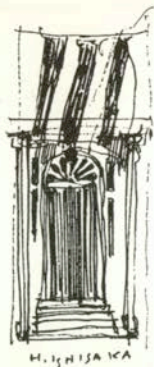


# 小泉八雲と神戸

小山 牧子 え・石 阪 春 生



M. H. NISHIKAWA

明治二十八年九月のある午後、居留地の赤れんがで舗装された道を、初老を感じさせる貧相な風采の一人の異人が、まるで踊りはねるような足どりで歩いていった。

それは、男が一刻も早く外国商館や領事館が威圧的に建ちならんでいる居留地を遠ざかりたくてあせっているような印象を人々に与えた。事実、浪花町から播磨町を横ぎり明石町へ、居留地の中心から遠ざかるにつれて、男の足どりは、次第にのびやかなものに変っていったのであったが――。

男は、明治二十七年十月、熊本第五高等学校での教師としての契約期間を終え、神戸に住んでいたころのラフカディオ・ハーンのひとつときの姿であった。

日本人と見違えられるほど短軀。片方の目は、幼いころの事故で失明し、白濁したままになっている。残った片目は強度の近視で、対象をはっきりと見つめようとすると、ぎらぎらと異様な輝きを帯る。

度の強い眼鏡をかけていながら、ハーンは原稿を書く時わずかに視力がある方の近視の目を、原稿用紙すれす

れのところにくっつけて書いたといわれている。

そのハーン唯一のおしゃれは、つばの広い中折れのソフト帽であった。愛用の帽子を、つぶれた方の目をかくすためか、左の方に引きよせて目深にかぶり、妻のセツと息子の一雄が待っている下山手四丁目の質素な住居へ、浪花町の神戸クロニクル社から、彼独得の歩き方で帰ってゆくのであった。

当時、ハーンは教師の仕事を辞し、在留外国人のために発行されている日刊の外字新聞、神戸クロニクル社に新聞記者として月給百円で雇われていたのである。

明石町に曲る街角にさしかかった時、ハーンは、一人の肩をいからせた壮士風の男に出合った。日本人の生活が根底からゆれ動いた明治維新から一時代が過ぎ、人々の暮らしがほぼ安定したとはいえ、日本の開港地には、志がみのらず、そのため意固地な心で社会の進歩から背をむけ、肩ひじだけは必要以上にいらせている男たちが、大勢のし歩いていた。

男は、ハーンとすれ違うその一瞬をとらえ、赤れんが

の敷石道にベッと勢よく唾を吐いた。

「毛唐か！」

男の唇は、かすかに動いただけであった。しかし、人並以上に感受性の強いハーンの心に、その言葉は錐のよう鋭く刺った。そして一瞬、ハーンの近視の片目がさらに突びだし、彼は再び踊りはねるような足どりに戻って街角を逃げるように遠ざかってゆくのだった。

海から山へゆったりと吹きのぼってゆく風には、九月なかば過ぎの乾いたすがすがしさがあつた。しかし日ざしは、焼けつくように暑く、ハーンの背中や額からはじつと汗がにじみだしてくるのだつた。

突然、海から外国船の入港を知らせる汽笛が響いてきた。ヴァーウオーツ！ 汽笛の音は、重い霧のように地を這い、この街の底にどむよようにいつまでも消えないヴァーウオーツ！ ヴァーウオーツ！ 船は狂おしく咆え何かを呼び続けるように、汽笛の音を街に送りこんでくる。

居留地を出はすれ少し北へ歩くと、両側がまばらな人家と原っぱだけの殺風景な通りになる。そこは、後年トア・ロードと名づけられ、神戸の異国情緒を語る時、忘れることができない通りになったところだ。

やがてハーンは、うす汚い男たちが傾いた軒端や、原っぱの中からこの通りにあふれだしてくるのに気がついた。

それは、どこからともなく半裸に近い非人乞食といった扮装でやって来て、街に住みついた浮浪人の群れであった。彼らのうちで体力のあるものは、港の荷あげ人足になり、一部のものは三味線を引き流し、哀れな唄を唄って歩く門つけになり、芸もなく体力もない連中は街頭乞食になった。

その日、ハーンが通りで出会った男たちの群は、入港を知らせる汽笛の音を聞きつけ、荷あげる仕事にありつこうとメリケン波止場に殺倒する日やとい人足の群れであった。彼らは、仕事にあふれるとすぐさま居留地に入

りこみ、金まわりのよさそうな外国人につきまとい金をせびる、ゆすりすれすれの乞食に早変わりするのだつた。

「のけやいッ！」

男たちの一群を強引なつき切り方で人力車が駆け通つた。車の上には、ソフト帽をあみだにかぶつた碧眼の異人が、路上をうごめく人々を睥睨している。

それは、ことさらに珍らしい情景ではない。開港場がありがちな熱気と人々の欲望がうずまく街、神戸——、この街では、すべてがあまりにも粗雑で、人々の心は愛を失っている。

ハーンは、この街で鬱々とした心を抱いて毎日を暮らしていた。そのような彼の心によみがえり、ひととき乾ききつた心をぬらしてくれるのは、日本にやって来き直後一年ほど中学校の英語教師になって滞在した松江の街と熊本で高等学校の教師をしていた時に旅したことがある隠岐の島の思い出であつた。

松江は、いつもしつとりと濡れているような湖水の美しい街であつた。古い家々の奥深く、洗ひ光沢をもつ民芸品の数々が、そして人々の口から口へ語りつがれた美しい民話が息づいている街。

湖水のそばにあつたハーンの家の中には、いつも鼈や蛇が自由に這いまわっていたし、すぐそばにある木の茂みでは、日暮れ時に山鳩がテテカッポ、カカポッポと鳴くのだった。

「あの蛙、取らぬため、これをご馳走します」などと云つて、庭を這っている蛇に自分の夕食を別け与え満足していたハーン。醜い虫けらや、捨猫の中にでも、人間と同じような魂が息づいていることを信じ、愛情を注ぎかけたハーン。

それに松江は、愛する日本人の妻、小泉セツと知り合ひ結ばれた土地であつた。

そして隠岐の島ノそこでは、淳朴な住民が島にやってきた初めての異人を見ようとハーンが泊っている宿屋の屋根によじのぼり、庇がすさまじい音をたてて落ちてき



たというちょっとした事件があったが、常は人影すら見えない美しい緑の島であった。

ハーンは、このねばつこい欲望で胸を一杯にした人間のおずまぐ神戸の街を一刻も早く離れてしまいたいと思った。

官鉄（現在の国鉄）三ノ宮駅を通りぬけると、真直ぐな広い通りが山腹にむかつてのびている。

ハーンは背中をまるめ気味に、踊りはねるような足どりで、なだらかな坂道をのぼっていった。

遠くへゆきたい！

その時、押えようもない、願望が、彼の胸にひろがり、

遠くへゆきたい！！

坂をのぼるにつれて、願望はハーンの胸一杯にひろがり、はちきれそうになってくるのだ。

神戸に住んだハーンの最初の家は、下山手四丁目にあ

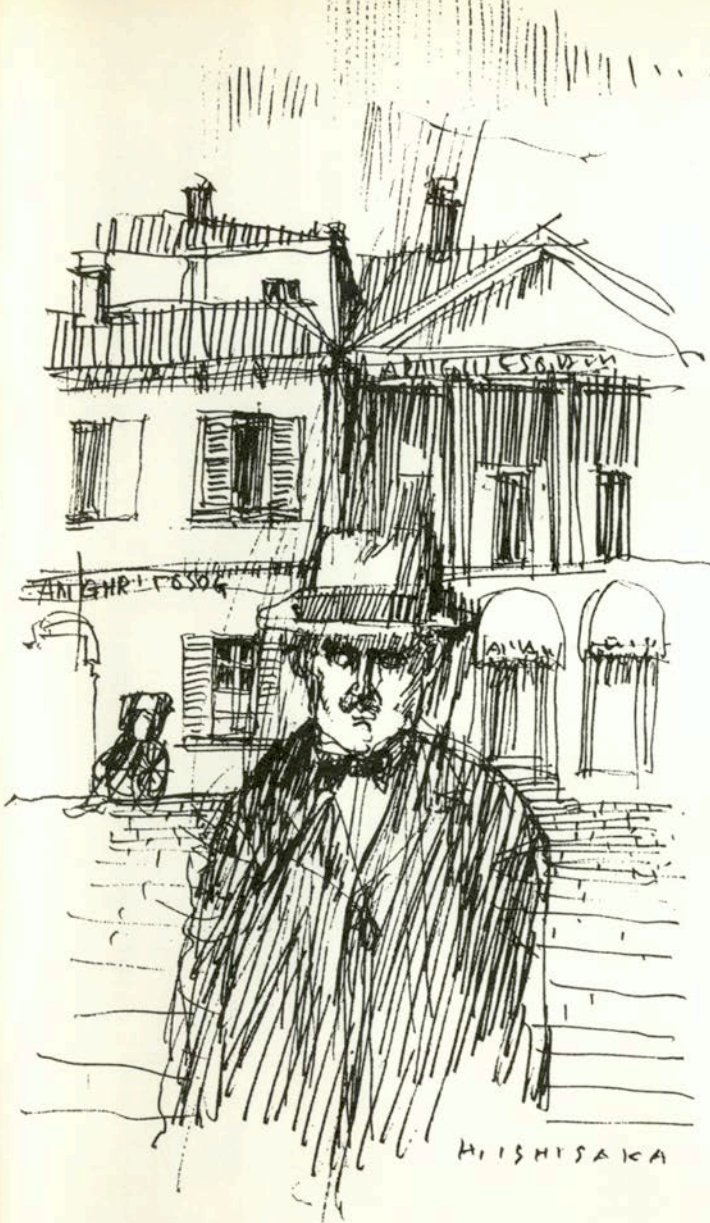
り、八帖の書斎をふくめて四間しかない純日本式の家屋であった。日本に心酔したハーンだけあって、床柱や欄間などは、よくふきこまれ、黒いしっとりとした光沢を放っている。そして、部屋の外まわりにも、部屋と部屋の区切りにも壁というものが一つもなく、すべて障子張りであった。

家に帰りつき、玄関の格子戸をがらりと開けたハーンは、すぐに妻を呼んだ。

「ママさん！」

奥の部屋から現われたセツが、上りかまちに膝をついた。彼女の足もとで純白の足袋が青い畳にあざやかに映える。こじんまりと結びあげた丸髻のよく似合う下ぶくれの顔が、かすかに微笑んでいる。

「ママさん。すぐに支度して下さい。私、いまからすぐ隠岐の島にとまいます。あの静かな島で、ママさんと私、一雄、みんなよきです」



ハーンは、せかせかとした口調でセツに云った。

妻が英語を話すことを嫌ったハーンは、セツに習って日本語をおぼえた。そして二人は、たどたどしい日本語で、どのような意志も通じ合わせることができた。周囲の人々はそれをヘルンさん言葉と呼んだものであった。ヘルンさん言葉には、たどたどしい中に一種のさわやかな余韻を感じさせるものがあつた。松江の住民で、家老職を勤めあげたセツの曾祖父から祖父母へそして父母へと受けつがれてきたセツの言葉は、松江地方の方言とまざり合い、言葉のすみずみに折目正しい格調があつた。そしてセツは、祖先から受けついで言葉をそのままハーンに教えたのである。

「神戸の街、日本の本當の心ないです。この街に住む私、心ダメのものになります！」

ハーンは、訴えた。

セツは、ハーンにひかえめな視線を送つた。そして、押さえがたい激情が、いまこの異国人の夫の胸をとらえゆさぶつてゐることを知つた。

セツは、人目につつような美人ではなかつたが、豊かな生活の知恵を持つた、堪えるという行為で自分の意志をつらぬいてゆく、日本女性の美德をあますところなく持つた女であつた。そして、夫ハーンが激情にかられてゐる時は、どのような説得も無駄であることを知つてゐた。

「パパさん。よろしゅうございます。しかし、私願うです。朝まで待ちて下さい」

「どうして？ ママさん」

「日本の人、みなみな申しませす。夕暮れに近い旅立ち悪きことのあります。きようは、それに仏滅の日です」

「おお！ そうでしたか。なんぼ私、馬鹿でした。日本人の暮らしに習うこと、私の好むことです」

日本人の古い習慣を研究してゐるハーンに、セツは仏滅のことを、仏様がお護り下さらぬ不吉な日と教えた。そしてハーンは、縁起をかつくというわけでは決してな

かつたけれど、日本の風俗と習慣に埋没して生きることが切望していたから、セツの言葉に素直にしたがおうとしたのである。

しばらくして心の落着きを取りもどしたハーンは、セツに助けられながら古ぼけた背広を脱ぎすて、愛用のゆかたに着かえた。そして、書斎の縁先にくつろぎ、そばに置かれてゐる日本の煙管を取りあげ、刻み煙草をつめた。

日本にやつてきてすぐに、彼は変わった形の煙管を蒐集しはじめた。そして、集められた煙管の一つひとつに日本にゆかりのある美しい名前をつけて愛用したものであつた。その名前の中には、鬼の念仏、秋の夜のきぬた、茄子、などというのがある。

「パパさん。食事にはいしましょう」

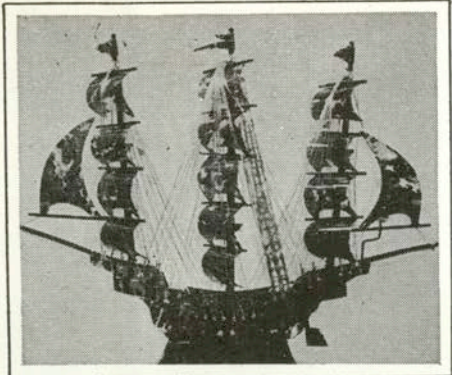
障子のかげからセツが呼んだ。

食卓には、大井牛肉店から取りよせた牛肉に牛の血を吹き込んで作ったシチューがあつた。日本の習慣にひたり切つて過ごしてゐたハーンであつたが、食事の好みは洋風であつた。しかし、シチューの横には茄子の浅つけがつかややかな紫紺色に映えながらならんでゐるといつたあんばいである。茄子もまた、ハーンの大好物であつた。そして、同じ食卓の上には、彼が食前酒として常用してゐるウイスキーの瓶が置かれてゐる。すべてセツの心づくしの品々である。

ハーンの隻眼に柔和な光が宿り、やがて二才になる長男一雄をまじえて、なごやかに食事がはじまるのであつた。

神戸在住当時、ハーン四十六才、妻の小泉セツは三十才であつた。不快な出来事が多く、傷つけられることが多い神戸でのハーンであつたが、家庭の中では、セツの豊かな愛情につつまれ、幸福な日々を送ることができたのである。





センスあふれる  
べっ甲専門店

**太田 鱈甲店**

元町1丁目 TEL ㉿6195



世界の品々は  
サノへでお選  
びください。



元町2丁目  
㉿4707~8



創作ハンドバッグ  
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

**イクシマヤ**



TEL. (33) 2415・2416



高級紳士服専門店

**神戸テラー**

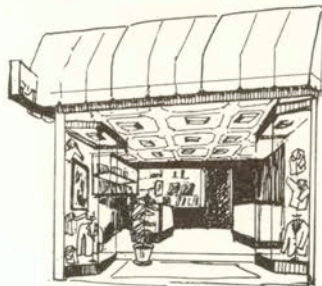
さんちかメンズタウン  
生田区北長狭通2

TEL ㉿0388  
TEL ㉿2817・3173

高級紳士服  
**山名洋服店**  
 神戸三宮生田筋③3 5797



あなたの真心をハイセンスな品でお飾り下さい。



高級洋品

**マンジャマ**

神戸元町1丁目  
 TEL (39) 4880



オード・フォーカス-C

オード・フォーカス-  
 KOBEの街と

ともに40年—  
 ユニークな香りの  
 高級ヘアートニックです

**三星堂**

発売元 / 神戸

TEL 大代表23-4341

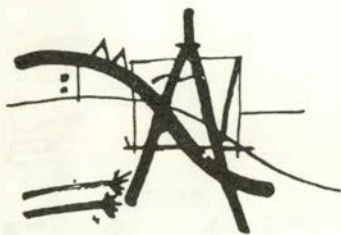


KOSHIR

**神戸シャツ**

大丸前 TEL ③ 2168

額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
☎1309・6234

創業明治二十八年

履物の山下

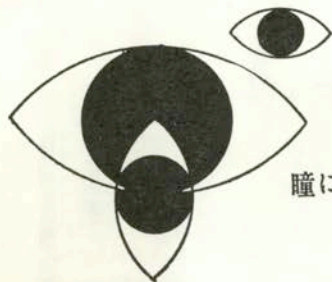
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL ☎ 0256

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361

高級きものとおび  
しみぬぎ・活洗専門店



平野

つるや本店

兵庫区神田町125

(家庭裁判所前東1丁)

TEL ☎ 6932



やっぱりうまい  
むさしのとんかつ

ヨドバシ三宮  
ムサシ  
でんわ 三三七七八



長崎堂元町店

ご贈答に風味豊かなカステーラ

### 長崎堂 本店

本 店=大橋町5大五ビル (61) 0553-4  
 新開地店=松竹座前 (56) 2423  
 元町店=元町 6 (34) 4130  
 さんちかスイーツタウン (36) 3625

The  
Casmopolitan  
Valentine F. Morozoff

## コスモポリタン チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	
	新宿ステーションビル地下2階	電話352-2436
千葉駅ビル店	千葉市新町千葉駅ビル名店街	電話 7-2534

神戸名産 瓦煎餅

神戸三宮トア・ロード  
 本店 ③ 1番 2番 3番  
 南店 ③ 16 16 番

おくりもの、おみやげに

クリーム  
ベリタス  
ロールラッキー

地方送り承ります

亀井堂  
本家





松田 真理子  
 生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052



洋酒の店キャンテイ  
**Chianti\***  
 神 晴夫 TEL(39)3060  
 213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE



おすし  
 てんぷら  
**柴 彌**  
 営業時間  
 A. M. 11.30~P. M. 9

本店 三宮町二・朝日会館前  
 TEL ③③ 5772  
 (毎週月曜日休み)  
 支店 さんちか味ののれん街  
 TEL ③⑨ 5233



SNACK BAR  
**マゼラン**  
 生田区加納町4丁目 TEL 39-2366



## ビードクトル 探訪記<7>

春山正

<漫画家>

さすがに、目のつぶれるようなのは、飲まなかったが、酒と名のつくものは何でも来いの私も、夏はビールで通している。

それも、大いに飲み、かつ食べる方だ。秋を迎え、そろそろ日本酒の恋しくなる時期だが、日本酒の前にノドをうるおすために飲むビールの味もまた、格別である。この頃の人にはあまり飲まないが、われわれ年代の漫画家連中は、何かあるとすぐ飲む会に結びつける。

ソーセージとウィスキーのポケットピンをホールに持ち込み中ジョッキ1ばいで何時間もねぼった昔がなつかしく想い出される。落語に結びつく日本酒は哀感があるが、ビールには、スカットしたユーモアがあり漫画の材料にもよく使う。

しかし、何といっても、仕事を終えて風呂あがりに飲むビールの味が一番良い。



# 兵庫の女

武田 繁太郎  
え・松岡 寛一



## 第八章

「あんた。きょうは店番たのんまっせ」

まつをは、いそがしい店のあきないのすきをみては、利市に留守をあすけ、あいかわらず木綿風呂敷に反物を背負って、社宅まわりをつづけていた。

しかし、いかにまつをがタフでも、店の商売と「くずし」とが、いつまでも両立するはずがない。彼女は、社宅まわりのほうは、徐々に販路をちぢめていくつもりであった。そして、縮小したその得意先きを、そのまま直接店のほうへ吸収しようという肚だったのである。

御崎本町通りは、かたち屋呉服店が開店してから一年もたたぬまに、狭い通りの両側にばたばたと商店が軒をつらねていった。

### ★あらすじ

15才で広島の家を飛びだしたまつをは、神戸で鐘紡の女工となり、同じ職場で働くバンドル工安福利市と結婚した。若い二人は社宅で共稼ぎをはじめた。

やがて、発展する日本の国力とともに、二人の住む兵庫の町もどんどんと大工場が建ち並び人口も増えていった。そんなとき、まつをは共稼ぎのかたわら内職をして貯めた金を元手に、呉服の行商をはじめていった。

やがて反対する利市を強引にときふせて、ひらけゆく御崎本町通りに、小さな店をかまえたまつをは、屋号も夫の生家からとって「かたち屋」と名のつた。しかし、あくまでも店の実権は自分の手に握るまつをはであった。

この通りだけではない。兵庫の土地を北から南へと一文字に貫く西宮内、大仏筋、清盛塚などの町並みは、刻々と目にみえて人の流れがはげしくなっていた。

じっさい、日露戦争後から明治末年にかけて、三菱や川崎や鐘紡などの大工場の好況とともに、この町筋の発展にはめまぐるしいものがあった。

御崎本町をはさんで、北と南とに市電が敷かれ、その開通をきっかけにして、この町筋は、たちまち兵庫随一の繁華街に変貌した。

盛り場らしく、南栄館という活動写真小屋や、末広座という芝居小屋もできた。町の北端を東西にすぎる運河の川ぶちに、新川という遊廓街も出現した。そして、楼主たちは、「馬を買いにい」と称して、中国や九州あたりの農村まで足をのばした。

かたち屋呉服店は、ちょうどこの繁華街の中心部に位置していたのである。

明治の年号が新しい大正にかわるころまで、まつをは三度かたち屋の店を増築した。さいしょは一間半ほどのせまい間口だったが、両わきにあったしもたやをつぎつぎと買いとり、これをつぶしては間口をひろげ、繁華街の呉服屋にふさわしい構えに造りかえた。

商品の仕入れも、とくに平梅の手をはなれ、直接京都の間屋と取り引きするようになっていた。問屋の番頭が、三日にあげず、京都から注文をとりやってくるのである。

店も、夫婦二人だけでは、もう手がまわらなくなっていた。

まつをは、平梅にたのみこんで、気づころの知れた番頭の一人をまわしてもらい、丁稚も二人やといれた。住み込みの彼らの世話をする女中もいる。夫婦二人きりだったかたち屋の店は、たちまち六人の世帯にふくれあがった。

そうした雇人たちを指図しながら、お召しの着物に、角帯、白足袋姿で、店の帳場にすわりこんでいる利市も

商売をはじめたころとはちがひ、よそ目には、すっかり呉服店の主人らしい風貌をそなえてきているようであった。

しかし、利市は、はたしてこの商売に芯から溶けこむことができていたのだろうか。若いころから華奢な体質だった利市は、酒も煙草も、まつをからとめられていた。おなじ呉服屋仲間が、ひとつには商売のためにも、柳原あたりの花柳界へ出入りしていたものだが、まつをは利市にこの社会との交渉を絶対に許さなかった。

「そら、ああいうとこのおなごらは、衣裳が商売道具やさかい、金に糸目をつけずに、なんぼでもええもん買うやろかい。けど、むこうが客になってくれるんやったら、こっちかて、三度にいちどは客になって遊ばんならん。そんなことしてたら、結局は、儲けはおろか、元も子も吸いとられてしまう。あたしは、色街はきらいや。あんなとこ相手にせんかて、りっぱに商売はやっていける」

そういつて、まつをは反対した。

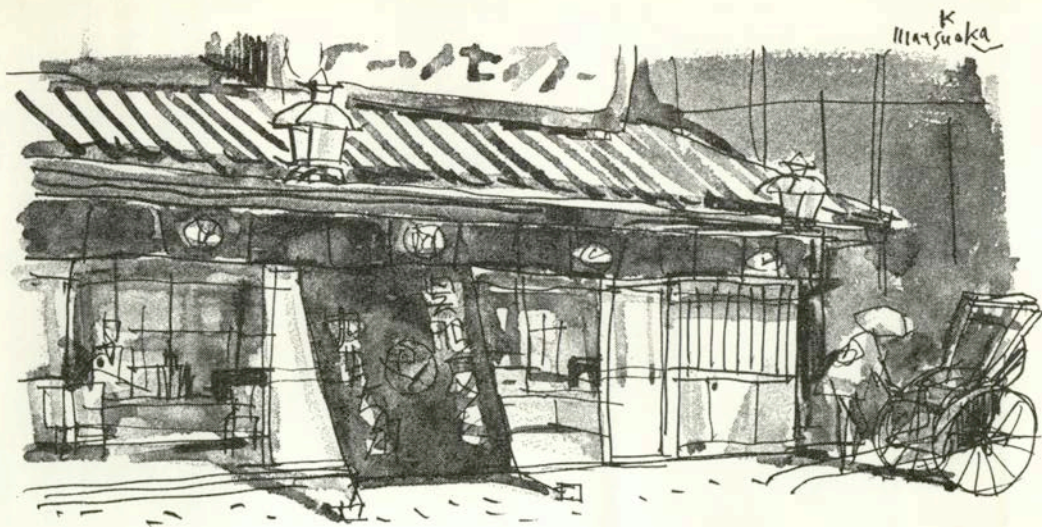
彼女は妙に意固地なところがあり、色街を毛嫌いたとおなじように、店の取り引きにも、小切手や手形の類はいっさい使用しなかった。

「あんな紙切れ、なんや知らんお金みたいに思われん」と、問屋の払いなども、いつも現金主義であった。

まとまった取り引きで、金額の張る場合など、現金では不便至極のはずだが、まつをはいささかも意に介さなかった。むしろ、ぼつてりと嵩ばった札束の重みを、これこそまきれもない金銭というものの実体であると信じそのたしかな手応えをなによりも愛していたのかも知れない。

しかし、彼女の現金主義は、そのまま、即金主義にも通じていた。問屋との取り引きでも、現金をちらつかせれば、それなりに買いたくことができるという、彼女一流の抜け目のない計算がひそんでいたようであった。利市は、妻に色街へ出入りすることは禁じられていたが、彼自身も、女あそびなど思いも及ばぬことであった。





世間への手まえば、りっぱなかたち屋のあるじでとあっていても、利市は、店の実権はがっちりまつを手に握られている。妻の目をかすめて、茶屋遊びをするほど自由になる金は、一銭もあろうわけがなかった。

利市は、そうした自分が世間から手堅い商人だといわれていることを、自分でもよく知っていた。

だが、そんなうわさを耳にするたびに、彼は、いつもふっと減いりこむようなむなしさをおぼえるのである。そして、ほっそりとした色白な顔で店の帳場にすわったまま、どうかすると、いれかわりたちかわり流れこんでくる客の群れや、その客たちにいそがしく応対する番頭や丁稚たちの姿を、まるで自分とはなんのかわりもないもののように、いつまでもぼんやりとながめいっていることがよくあった。

「大将。お客はんが、これ、もうちょっと勉強でけんか、いうてますけど」

丁稚に声をかけられ、利市は、白日夢を破られたように「うむ？どれや」

と、面をあげるが、その声は、ひどくうつろであった。

彼は、なにひとつ趣味というものを持たぬ男であった。まつをも、おそろしく無趣味な女だったが、これまでの二人の生活には、そんな趣味を持つひまなど、はいりこむ余地がなかったせいでもあろう。

だが、たったひとつ利市は、ときたま鐘紡の社宅に、明番の日を狙って、むかしのバンドルの仲間をたずねていくのが、なによりこのしみにしていた。

といて、それも、こっそりまつをの目を盗んでいかねばならない。彼女に気づかれると、かならず社宅の連中の掛け取りをいつつけられるからである。

鐘紡の得意には、まだいくばくかの売りかけ金が残っていた。まつをは、三年まえ五年まえに売った品物の残金でも、ねばりづよくじりじりととりたてていた。五十銭の端した金でも、あきらめようとはしなかった。

「そんなえぐいこといわんかて、おまえ、みんな、む

## ★神戸の催物ごあんない★

### ▷コンチネンタルタンゴの夕べ

9月15日～17日 PM 6.30 15日のみPM7.00 会員券  
北村維章と東京 シンフォニックタンゴオーケストラ 9  
月例会A 主催/神戸労音 於国際会館

### ▷関西学生ライト・ミュージックフェスティバル

9月18日 PM 6.30 ¥250 主催/関西学生軽音楽部連盟  
於国際会館

### ▷豪華浪曲大会

9月20日 AM11.00 PM4.30の二回 A¥900 B¥700  
C¥500 D¥300 五月一郎ほか 主催/神戸新聞会館 於  
国際会館

### ▷昭和41年度神戸市社会福祉大会

9月21日 PM1:30 無料 主催/神戸市民生局 於国際会館

### ▷コーラスをきく会

9月22日 PM7.00 ¥200 主催/神戸友の会 於国際会館

### ▷ラテン音楽の夕

9月23日 PM2.30、6.30の二回 会員券 主催/民主音楽  
協会 於国際会館



<写真はドン・キホーテ>

### ▷第20回共同募金舞踊公演会

9月25日 AM 11.00 ¥700 主催/兵庫県共同募金会 於  
国際会館

### ▷民芸公演「私はカメラだ」 9月例会A

9月26日 PM6.15 会員券 出演/下元勉、小夜福子ほか  
主催/神戸労演 於国際会館

### ▷関西芸術座公演「書けない黒板」 9月例会B

9月27日～28日 PM6.15 会員券 出演/寺下真信ほか  
主催/神戸労演 於国際会館

### ▷ドン・キホーテ 全3幕

9月29日 PM6.30 会員券 出演/谷 桃子バレエ団 主催/  
神戸労音 於国際会館

かしの兄弟みたいな仲間ばっかりやないか。ほかの得意とわけがちがう。それに、もう元はきれいなとってある」利市が、彼らをかばっても、まっつをは、あくまでもあたまを縦にふるうとはしなかった。「なにをじゃらじやらしたかというのとってのや。あたしは、なにも義理を忘れてるのやない。それは、あんたもよ才知とってやる。社宅の連中に、ヤレ子がでけた。ヤレ嫁どりや。だれそれが死んだ、と、そのたびに、うちではちゃんと、することだけはしてあります」まっつをのいうとおりであった。社宅にいたときからの親しい連中とは、いまでも冠婚葬祭などの付き合いの義理は、几帳面にはたしていた。

それも、かたち屋呉服店といえ、御崎本町では名のとった店になっている。そのかたち屋の体面を汚すような真似だけは、まっつをは絶対にしたくなかった。はずむべきところには、思いきってはずむ、度胸のいいところを彼女はみせていた。

「けど、むかしの義理は義理、商売は商売や。そこをどっちゃまぜにして、このむつかしい商売が一日でもたつていきますか。あんた、そんな気のよわいこというと

ってやさかい、いつまでたっても婿あかんのや」きいていくうちに、利市は、ふいに、どっと胸を突きあげてくるものをおぼえた。

だが、その思いを言葉に託そうとすると、喉がひきつめたように、無意識にあわい吐息にかわっている。そういう自分に、彼は、いつも吐きだしたくなるような苛立ちをおぼえるのであった。

それでも、利市は、社宅ゆきをあきらめきれなかった。まっつをが京都へ仕入れにでかける日など、こっそりと店をぬけた。

パンドルの連中は、利市がやめた十年まえとおなじように、あいかわらず四帖半と三帖ふた間きりの鼻を突くような社宅に住みついていて。利市ひとり、この社宅から足を洗い、いまでは、御崎本町いちばんの大店のあるじになりあがっている。

しかし、利市は、あの嗅ぎなれたどぶ臭い社宅の露地に一歩足をふみいれると、それまで胸にもだえていたものが、一瞬のまに霧散し、はじめて、ほっと生きかえったような安堵の息をついている自分を、いつもみいだすのであった。

△次号につづく▽







PHOTO POEM  
無言歌

雨の扉をひらく  
雨が鳥たちをぬらしている  
約束のように鳥たちがぬれている  
大地は一個の水盤だ  
幽かな光をたたえる  
雨滴はその上に  
くりかえしくりかえし  
小さな円環を重ねていく  
雨の部屋、雨の廻廊がつづく  
鳥たちがうたわぬときも  
すでにしてかれら自身  
光る歌だ  
その内部に小さな火を点じている

詩／鈴 木 漠  
カメラ／緒方しげを





鳥たちは無言でぬれている  
その内部に火が点されるとき  
鳥たちは歌だ

その飛翔するとき

さらに見えない歌だ

けれども小さな足跡が確かにのこされる

いま歌こそは全き存在にほかならぬ

鳥たちがとび立っていく

鳥たちのなかの魂がはばたきつづける  
すべては約束のように







雨の粒は丹念に円環を重ねている  
背に翅を生やした子供たちがあらわれて  
やがて  
雨の扉がとざされ





銘店抄その27  
赤根和生(美術評論家)  
ニューオリエント  
三宮ビル地階

ビア・レストラン、つまりビールを飲みながら料理を、というのがこの店のねらいなのだが、客層をみていると必ずしも男性が多いわけではない。女性や家族連れがかなりのパーセンテージを示す現象は、この店のアット・ホームな雰囲気と、充実していて大衆的なメニューを、如実に反映している。

レストランという以上、料理の実質が大きくものをいうわけだが、オリエンタル・ホテルの子会社オリエンタル・サービスの経営だけに、その点は信頼がおける。特に昼食の選択になやむサラリーマン族にとっては、バラエティーに富んだシーズンランチにめられた、周到な配慮が嬉しい所だろう。

シックな調度類が、かもし出す北欧風のムード、それは、オリエンタルホテルのコーヒショップそのままだが、ホテルのレストランが持つとっつきにくさを解消して、庶民化した店がここである。だから蝶ネクタイの紳士から、雪駄姿の人まで、同席しても不思議でないのである。うまい生ビールはもちろん朝日ビールだ。

(写真左は筆者右は甘濃氏)





銘店抄その28

赤根和生(美術評論家)

UC・コーヒ・ショップ

さんちかタウン

私自身かなりのコーヒ飲みで、外出しても一日何ばいかのコーヒを胃袋に流し込むのだが、一般の喫茶店のあの薄暗い照明の、ロマン・ムードとやらにはどうもなじめない。その点、白い天井、赤いカーペットのこの店は、陰気臭い間仕切もなく、広々と解放的なところが大へんいい。

大きなうねりの起伏をもつ天井と、そこに点々とともる赤い豆球がきわめて印象的だ。最近の建物の天井の低さを逆に利用して、洞窟の中のようにおちついたムードを醸し出しているこの店のつくりは、なかなかユニークである。

そんな雰囲気にはふさわしく、好ましい形をした大ぶりのカップでたっぷりとだされるこの店のコーヒは、従来の日本のコーヒに多い、「通人」用の苦味や酸味の強いものではなく、万人向きのソフトなアメリカ風……その「UC」ブレンドの割合をちょっと紹介するとコロンビア40%、サントス30%、モカ20%、ジャワ10%である。

モーニングサービスのフレッシュ・ドーナツも適度の量だ。庶民的で、それでいてしやれた店、客層の広さがそれを証明しているようだ。

〈写真左筆者右上島氏〉





高性能の日野

*Hino*

日野

レンジャー

兵庫日野自動車株式会社

大代表 TEL ㊦ 2281





# 神戸百店会

## Kobe High Class Shop Group

### \*宝飾品 Jewel・Pearls

- ① 宝飾 御木本真珠店 国際会館1階 International House 06-006612
- ② 宝飾 田崎真珠店 新開会館秀品店 225-5646 Kobe Shinbun
- ③ 宝飾 北村真珠店 元町通二丁目 033-00722
- ④ 宝飾 タジマジュエリー Tajima Jewel 元町通二丁目 033-03287
- ⑤ 時計と宝石 美田時計店 元町通三丁目 033-17918
- ⑥ 宝飾 神戸宝石 Pearl Fur & Ladies' 元町通三丁目 033-23977
- ⑬ 真珠・毛皮 舶来婦人服飾 さんちかタウン 山本通4丁目 033-38867

### \*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦ 紳士服 柴田音吉洋服店 元町通四丁目 040-0644
- ⑧ ネクタイ 元町バザール Motomachi Bazaar 元町通一丁目 033-1401
- ⑨ 紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei 元町通四丁目 047-290
- ⑩ 男子洋品 神戸屋 Men's Shop 元町通二丁目 033-2589
- ⑫ 男子洋品 フナキヤ Funakiya 元町通三丁目 033-3617
- ⑬ 紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya 元町通五丁目 033-2938
- ⑭ 洋品雑貨 サノヘ Sanohe 元町通二丁目 033-4707
- ⑮ ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt 大2968 前 In front of Daimaru
- ⑰ 紳士服 洋服の粹渡 辺 Watanabe センター街 033-1650
- ⑱ 衣生活品 ニッケショールーム Nikke Showroom 元町通三丁目 033-0901
- ⑲ 紳士服 神戸テーラー Kobe Tailor 阪急西口・西7 Hankyu west Exit 033-2807
- ⑳ 若人の服飾 マックス Mac Men's Shop 三宮本店・トロード店 新開地店・姫路店 Center-Gai・京都店 033-69956
- ㉒ 紳士シャツ ヤマトヤシャツ Yamatoya Shirt センター街 033-69956

### \*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

- ㉔ 帽子 マキシマックス Maxim 元町通三丁目 033-6711
- ㉕ 服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton 元町通一丁目 033-1818
- ㉖ 洋品 スギヤ Sugiyama 元町通三丁目 033-3436
- ㉗ ハンドバック シラサ Shirasa 元町通二丁目 033-0813

- ㉘ 洋傘 オカダカダ Okada 元町通三丁目 033-0051
- ㉙ 洋装 マスヤマ Masuyama センター街・元町三丁目 033-2781
- ㉚ 婦人服飾 ベニヤ Beniya センター街・さんちかタウン 033-55289
- ㉛ 輸入服地 マルゼン Maruzen 三宮一丁目 53 Kuta, Street 096901
- ㉜ 婦人・紳士服 セリザワ Serizawa センター街・大丸前 033-4624
- ㉝ 毛皮 ベニー毛皮店 Bennie Furrier (Furs) 国際会館一階 Kobe International House

### \*装身具・服飾品 Accessory・Dress

- ㉞ ペッサリ 太田ベッサリ Ota Co. (Tortoise-shell ware) 元町通一丁目 033-1999
- ㉟ ハンドバッグ アクセサリー Ikushimaya 元町通二丁目 033-2415
- ㊱ アクセサリー 芸夢 Geimu 元町通二丁目 033-2993
- ㊲ 婦人・紳士靴 高級舶来雑貨 Cross Shoes 元町通三丁目 033-2998
- ㊳ 婦人・紳士靴 吉岡靴舗 Yoshioka Shoes 大丸前 033-5190

### \*和装 Kimono, Geta

- ㊴ 呉服 ちんがら屋 Chingaraya センター街 033-8836
- ㊵ 呉服 みよし Miyoshiya 大丸前 033-3888
- ㊶ 衣裳 中川衣裳店 Nakagawa センター街 033-7524
- ㊷ 衣裳 つるや衣裳店 Turuya 大丸前 033-3600

### \*美容 Beauty Shop

- ㊸ 美容 美容室あきら Akira Beauty Shop 三宮本通り 033-4661
- ㊹ 美容 マキシン美容室 Maxine Beauty Shop 三宮本通り 033-4917
- ㊺ コンタクト レンズ 国際コンタクトレンズ International Contactlens Laboratory 国際会館一階 Kobe International House

### \*ボーリング Bowling

- ㊻ ボーリング 神戸スターレーン Kobe Starlane 市役所西側 099-4165

### \*美術・工芸品 Art

- ㊼ 美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery 元町通一丁目 033-2359
- ㊽ 画材・額縁 末積製額 Suezumi 元町通一丁目 033-1309
- ㊾ 工芸 アクセサリー 磯川工芸店 Isokawa 元町通三丁目 033-3980
- ㊿ 美術陶磁器 淡洲堂 Tanshudo センター街 033-1770
- ㊽㉿ 新古美術 播新 Harishin 元町通三丁目 033-0821

### \*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㊿ 家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop 大丸前 033-7379
- ㊽㉿ 運動用品 ヤノスポーツ Yano Sports 元町通三丁目 033-4969
- ㊽㊾ 玩具 カメヤ Kameya Toy Store 元町通三丁目 033-4969
- ㊽㊽ メガネ 神戸眼鏡院 The Kobe Optical Co., Ltd. 元町通三丁目 033-3112
- ㊽㊼ カメラ コヤマカメラ Koyama Camera Shop センター街 033-0158
- ㊽㊻ 儀式用品 富田屋 Tomitaya 元町通四丁目 042-3346
- ㊽㊺ カバン 大上靴店 Oue Trunk Co. 元町通一丁目 033-1999
- ㊽㊹ カバン 高橋靴本 Takahashi 元町通三丁目 033-2415
- ㊽㊸ 電器製品 元町電機 Motomachi Electric Co., Ltd. 元町通六丁目 045-8476
- ㊽㊷ 薬品 三星薬局 Sansei Pharmacy 元町通六丁目 040-3303
- ㊽㊶ メガネ 服部メガネ Hattori Optical Shop 大丸前 033-5190

### \*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊽㊵ 洋菓子 風月堂 Fugetsudo 元町通三丁目 033-2412
- ㊽㊴ 瓦煎餅 亀井堂本家 Kameido Honke 元町通三丁目 033-1616
- ㊽㊳ 菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame-Honpo 多聞通橋公前 040-1242
- ㊽㊲ 洋菓子 ドンク Donq センター街 033-5481
- ㊽㊱ チョコレート モロゾフ Morozoff 元町通二丁目 033-3855
- ㊽㊸ ドイツ菓子 喫茶 ユーハイム Juchheim's 元町通三丁目 033-1699
- ㊽㊷ 洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery 元町通三丁目 033-2340
- ㊽㊶ 洋菓子 ユーハイムコンフェクト Yuhaimu Confect 元町通三丁目 033-0156
- ㊽㊵ 和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya 元町通三丁目 033-0975
- ㊽㊴ 菓子 本高砂屋 Hon-Takasagoya 元町通三丁目 033-7367
- ㊽㊳ カステラ 長崎堂本 Nagasaki 元町通六丁目 033-3300
- ㊽㊲ 瓦煎餅 亀井堂総本店 Kameido Sohonten 元町通六丁目 040-0006
- ㊽㊱ 瓦煎餅 河南堂 Kanando 三宮駅山側 033-1061
- ㊽㊸ チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan 三宮駅前 033-1217
- ㊽㊷ 瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten 神公社正門前角 033-1801
- ㊽㊶ 喫茶 UCウエシマコーヒショッップ UC Weshimacoffee さんちかタウン 033-5677
- ㊽㊵ 洋菓子 アルモンド Almond 元町通二丁目 033-2203
- ㊽㊴ チョコレート ゴンチャロフ Goncharoff さんちかタウン 033-3563

### \*和洋料理 Eating House

- ㊽㊳ ステーキ キングス・アームス King's Arms Tavern 元町通三丁目 033-7379
- ㊽㊲ 日本料理 竹葉亭 Chikuyotei 元町通三丁目 033-6154
- ㊽㊱ 天婦羅 お可川 Okagawa 元町通三丁目 033-6154
- ㊽㊸ ふく料理 一富士 Ichifuji 渡川トンネル東 033-1538
- ㊽㊷ 寿司 本成駒家 Hon-Narikomaya 三宮本通り 033-3236
- ㊽㊶ とんかつ Musasi センター街 033-3771
- ㊽㊵ スペイン料理 カルメン Carmen 阪急西口 033-2388
- ㊽㊴ 欧風料理 ハナワグリル Hanawa Grill 元町通五丁目 046-942
- ㊽㊳ ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo 元町通六丁目 040-3303
- ㊽㊲ イタリア料理 イタリア Ristorente' 元町通三丁目 033-0376
- ㊽㊱ 軽料理 蛸の壺 Takonotsubo 元町通三丁目 033-1033
- ㊽㊸ レストラン コラルキタノ Coral Kitano 北野クラブ隣 033-2251
- ㊽㊷ 天ぷら・寿司 栄 Higashi Sakaeya 三宮二丁目 033-5772
- ㊽㊶ 寿司 又平 Matahei 元町通六丁目 040-4647
- ㊽㊵ 神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop 元町通六丁目 033-6061
- ㊽㊴ ビヤ レストラン ニューオリエント New Ori-Ento 三宮ビル地下 033-3124

### \*クラブ・料亭 Night Club

- ㊽㊳ 料亭 松乃家 Matsu no ya 花2785-6788 Hanakuma
- ㊽㊲ ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club 北野2丁目 033-2251
- ㊽㊱ クラブ くらぶ花くま Club Hanakuma 花045-129 Hanakuma

### \*ホテル Hotel

- ㊽㊸ ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel 京町 033-8112
- ㊽㊷ ホテル 六甲オリエンタルホテル Hotel Rokko Oriental 六甲 033-0334
- ㊽㊶ ホテル オリエンタルホテル 舞子ヴィラ Oriental Maiko Villa 舞子 076-0013
- ㊽㊵ 観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku 阿 033-0731

### \*商社 Trading House

- ㊽㊴ ビール 朝日麦酒 K.K. Asahi Beer 相 047-301
- ㊽㊳ 電化製品 ナショナル電化センター National Electric Center 京 033-8011
- ㊽㊲ 銀行 神戸銀行 Bank of Kobe 本店 生田区 033-8101
- ㊽㊱ 珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社 直輸入 神 033-3606





# 神戸百店会

## Kobe High Class Shop Group

- ① 一富士
  - ② コラルキタン
  - ③ 北野クラブ
  - ④ 六甲オリエンタルホテル
  - ⑤ 舞子ヴィラオリエンタルホテル
  - ⑥ 有馬温泉 (東有馬) 古泉閣
  - ⑦ ムラタパール
  - ⑧ ミトコシ
  - ⑨ 三ツツ
  - ⑩ 三ツツ
  - ⑪ 三ツツ
  - ⑫ 三ツツ
  - ⑬ 三ツツ
  - ⑭ 三ツツ
  - ⑮ 三ツツ
  - ⑯ 三ツツ
  - ⑰ 三ツツ
  - ⑱ 三ツツ
  - ⑲ 三ツツ
  - ⑳ 三ツツ
  - ㉑ 三ツツ
  - ㉒ 三ツツ
  - ㉓ 三ツツ
  - ㉔ 三ツツ
  - ㉕ 三ツツ
  - ㉖ 三ツツ
  - ㉗ 三ツツ
  - ㉘ 三ツツ
  - ㉙ 三ツツ
  - ㉚ 三ツツ
  - ㉛ 三ツツ
  - ㉜ 三ツツ
  - ㉝ 三ツツ
  - ㉞ 三ツツ
  - ㉟ 三ツツ
  - ㊱ 三ツツ
  - ㊲ 三ツツ
  - ㊳ 三ツツ
  - ㊴ 三ツツ
  - ㊵ 三ツツ
  - ㊶ 三ツツ
  - ㊷ 三ツツ
  - ㊸ 三ツツ
  - ㊹ 三ツツ
  - ㊺ 三ツツ
  - ㊻ 三ツツ
  - ㊼ 三ツツ
  - ㊽ 三ツツ
  - ㊾ 三ツツ
  - ㊿ 三ツツ
- 地図の割合で記入してある店舗メンバー



- ★さんちカタウン
- Fancy Town
  - ⑤美田時計店 (No.8) 338798
  - ⑥コヤマカメラ (No.9) 385106-7
  - ⑦神戸銀鏡院 (No.10) 381874-5
  - High-mode Town
  - ⑧ちんがり屋 (No.2) ⑨4303
  - Mens Town
  - ⑩神戸テラー (No.8) 390388
  - ⑪大上靴店 (No.11) 394627
  - ⑫DCラウンジコーションショップ ⑬5677
  - Ladies Town
  - ⑭プリンス (No.2) 392855
  - ⑮クロス (No.6) 392562
  - ⑯MURATA (No.8) 393886-7
  - ⑰ベニヤ (No.9) 391204
  - ⑱セリザフ (No.10) 394626
  - Family Town
  - ⑲カメヤ (No.4) 394045
  - Sweets Town
  - ⑳モロフ (No.1) 392146-7
  - ㉑ユーハイム (No.3) 393539
  - ㉒メインドック (No.4) 394879393429
  - ㉓高月堂 (No.5) 393455
  - ㉔ヒロタ (No.6) 393474
  - ㉕新長崎本店 (No.8) 393625
  - ㉖船コンチャロフ (No.15) 393563
  - Salon Town
  - ㉗ニコローキョー (No.4) 395069
  - Gourmets Quarter
  - ㉘栄栄軒 (No.12) 395233



●全国の神戸銀行で出し入れご自由

# 全店扱普通預金



東宝/内藤洋子



 **神戸銀行**

■ 百貨会でのお買物は神戸銀行のホーム・チェックをご利用ください。



豪華な雰囲気  
で  
テープとレコードの  
超音響演奏

匠

たくみ

登場!!



## ナショナル《超音響》ステレオ

- 4トラック方式テープレコーダ組込み
- 音の人工頭脳MFB方式採用(特許)
- ムービングマグネット新型オートチェンジャー採用
- 超一流スピーカハイ・コンプライアンス・スピーカ
- 完全Hi-FiのOTL方式による24Wの大出力

SE-9000 <匠>たくみ

現金正価 **165,000円**  
月賦定価(15回) **178,200円**

FMステレオアダプタ付アンプ・オートチェンジャー(SH-103F)・テープレコーダ 3点ひとそろい

